

## 研究課題名「先天性胆道閉鎖症における腹腔鏡下葛西手術と開腹下葛西手術の麻酔管理における後方視的検討」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2010年1月1日から2017年9月30日までに当院で胆道閉鎖症の手術（葛西手術）を受けられた患者さんについて、基本的に全症例が対象となります。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

胆道閉鎖症は生後60日以内に適切な診断・治療を行う必要がある先天性の病気です。治療法として、肝門部空腸吻合術（以下葛西手術）が広く行われています。

この葛西手術はお腹を大きく開ける開腹術で行われることが一般的ですが、名古屋大学病院（以下当院）では傷口の小さい腹腔鏡での葛西手術を行なっています。その症例数は全国的にも多い件数となっています。しかし、生後60日前後の小さな患者さんに対して、開腹での葛西手術と腹腔鏡下での葛西手術における麻酔管理における比較検討はこれまでになされておらず、特に腹腔鏡下葛西手術を受けられた患者さんに対する麻酔中の様々な影響については不明な点も多く見られます。

当院では腹腔鏡下での葛西手術を受けられた患者さんが他施設よりも多いことから胆道閉鎖症の手術を受けられた患者さんについて、電子カルテ、麻酔記録、手術記録から得られた情報を元に、開腹での葛西手術と腹腔鏡での葛西手術の2つの患者さん群に分けて、麻酔管理上の問題点などを後方視的に検討していく予定です。

研究期間は2018年8月31日までとなります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院で使用されている電子カルテと麻酔記録システムから得られた、病歴、レントゲン写真をはじめとする画像検査、副作用等の発生状況、カルテ番号等といった情報が対象となります。得られた情報に関する個人情報の保護は厳格に行い、また、この研究に参加されている個人が特定されるような事はございません。

また、新たに患者さんから採血を行ったりすること等の医療行為を追加する事はございません。また、実際に手術中に抽出された標本などは用いません。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 医学系研究科 麻酔科学講座

担当者 佐藤 威仁 (内線 4319)

研究責任者：西脇公俊

住所:名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号:052-744-2340

○苦情の受付先:

名古屋大学医学部経営企画課 電話 052-744-2479